

## 取扱説明書

電源ボックス **業務用**

品番 TY-PWRBX3J



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(3～7ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 本品は、TL-165AD19AJ 専用の構成品ならびに別売品です。  
単独でのご購入・ご使用はできません。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。  
お買い上げの際は、製品本体の製造番号をお確かめください。

**パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社**

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

© Panasonic Projector & Display Corporation 2025

TP1025YMO-FJ

中国印刷

DPQX1877ZA/X1

# もくじ

## お使いになる前に

- この取扱説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

安全上のご注意	3
使用上のお願い	8
付属品の確認	10
移動するときの注意	11
接続	12
組み立て・取り付け・接続	17
操作	18
仕様	18

## 大切なお知らせ

### 業務用ディスプレイ/プロジェクター テクニカルサービスサイト PASS について

PASS は、当社ディスプレイをご使用またはご購入を検討されている方に様々なサービスをご提供する、総合サポートサイトです。

詳しくは下記の WEB サイト

(<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass/>)

または、

パナソニック PASS  で検索してください。

メンバー登録が未だの方は、 ボタンから登録をお願いします。

メンバー登録がお済みの方は、登録メールアドレス / パスワードを入力してログインしてください。

#### ■ 簡単にご登録だけで、様々なコンテンツをご利用いただけます

##### ・ダウンロード

ユーティリティソフトウェアや業務用ディスプレイファームウェアをダウンロードできます。

##### ・ニュースレター購読

PASS の最新情報、新製品情報などをメールでお届けします。

##### ・お問い合わせ

ログインいただくと、細かい手続き不要ですぐにお問い合わせいただけます。

#### ■ 本体購入後 1 か月以内に PASS に ご登録頂きますようお願いいたします。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



**注意**

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



**警告**

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

■ 異常があったときは電源プラグを抜いてください

- 煙が出たり、異常な臭いや音がある
- 映像や音が出ないことがある
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある



電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- 電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

■ 故障した本機には手で触れないでください



感電の原因になることがあります。

■ 異物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。



火災・感電の原因となります。

- 特にお子様にはご注意ください。



# 警告

## 電源コードについて

- 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください



付属以外の電源コードを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。

- 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください



ショートや発熱により、火災や感電の原因になることがあります。

- 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などでショートし火災・感電の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電の原因となります。

めれ手  
禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、本機の仕様外の交流電源電圧では使用しないでください



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

- 30 A に対応したコンセントを単独で使用してください



併用すると、発熱による発火の原因となります。

- 電源ボックス (TY-PWRBX3J) の電源コード (コンセント装着用) の電源コネクタ (本体側) は、必ず AC IN に接続し、ロックが掛かっていることを確認してください



ショートや発熱により、火災や感電の原因になることがあります。

- 根元まで確実に差し込んだ後、時計方向に回して、ロックが掛かっていることを確認してください。

- 電源プラグ (コンセント側) や、電源コネクタ (電源ボックス側、コントロールボックス側、キャビネットモジュール側) は、根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全であると、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントのまま使用しないでください。



- 電源コネクタのロックが掛かっていることを確認してください。

- 電源ボックス (TY-PWRBX3J) の電源コード (コンセント装着用) の電源コネクタ (本体側) は、根元まで確実に差し込んだ後、時計方向に回して、ロックが掛かっていることを確認してください。

- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

( 傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる など )



ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

- 破損した電源コードや電源プラグには手で触れないでください



感電やショートによる火災の原因になることがあります。



## 警告

### 電源コードについて

- 本機は、必ず、電源プラグを保護接地があるコンセントに接続してください
- アースは確実に行ってください



感電の原因となります。本機の電源プラグはアース付き 3 芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に接続を行いご使用ください。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。

### ■ 設置は、工事専門業者にご依頼ください



工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

- 壁への取り付けには FHD LED ディスプレイ (TL-165AD19AJ) に同梱の専用壁掛け金具を必ずご使用ください。
- 落下防止のため、壁掛け金具と取り付ける機材の重量に十分耐えるよう、取り付け場所の強度を確認のうえ施工を行ってください。
- 電源ボックスは FHD LED ディスプレイ (TL-165AD19AJ) に付属の金具に取り付けてください。
- コントロールボックス (TY-CTRFHD3J) は、ANSI/EIA-310-D 規格に準拠したラックに取り付けてください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。

### ■ 同梱されている付属品は乳幼児の手の届くところに置かないでください



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

### ■ 雷が鳴りだしたら本機や電源プラグには触れないでください



接触  
禁止

感電の原因となります。

### ■ 本機上部に水などの液体の入った容器を置かないでください



水ぬれ  
禁止

水などの液体がこぼれ、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

### ■ むらしたりしないでください



水ぬれ  
禁止

火災・感電の原因となります。

### ■ 不安定な場所に置かないでください



ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

### ■ 振動が少なく、本機の質量に耐えられる場所に設置してください



倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。

### ■ 機器本体取り付け、または取り外しの際には、機器本体と壁や金具に挟まれる恐れがあるため、周辺に人がいないことを確認し、注意して作業してください



手や指がはさまり、けがの原因になることがあります。

## 警告

- 本機を分解したり、改造したりしないでください



分解  
禁止



### 警告



### 感電のおそれあり

サービスマン以外の方は、  
カバーをあげないでください。  
内部には高電圧部分が多く  
あり、万一さわると危険です。

### 「本体に表示した事項」

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

## 注意

- 本機の通風孔をふさがないでください
- 風通しの悪い狭い所に押し込まないでください
- 逆さまにしないでください
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

- 上に物を置かないでください



倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶらさがったりしないでください



倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

- 特に、小さなお子様にはご注意ください。

- 温度の高い所、湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください



火災・感電の原因となることがあります。

- 電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）を持って抜いてください



コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショートによる火災の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源コードや機器の接続線、転倒・落下防止具を外してください



コードや本機が破損し、火災・感電の原因となることがあります。

- 接続ケーブルの処理は確実に行ってください



ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。



## 注意

### ■ 強い力や衝撃を加えないでください



機器が破損し、けがの原因となることがあります。

### ■ 長期間で使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

電源  
プラグを  
抜く

### ■ 壁への取り付けの際は、取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部と接触しないように設置してください



壁内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。

### ■ 接続ケーブルを引っ張ったり、ひっかけたりしないでください



倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、お子様にはご注意ください。

### ■ 雨が当たる所、塩害が発生する所、腐食性ガスが発生する所に設置しないでください



腐食により落下し、けがの原因となることがあります。また、本機の故障の原因になる場合があります。

### ■ 取付工事の際は、指を挟まないようにご注意ください



けがの原因となることがあります。

### 指はさみ注意

### ■ 取扱説明書 / 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときは、当社では責任を負えません。

### お手入れについて

### ■ 一年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください



内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除については販売店にご相談ください。

### ■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



感電の原因となることがあります。

電源  
プラグを  
抜く

# 使用上のお願い

## ■ 設置されるとき

本機の設置については、次に示す各項目をお守りください。

また、設置環境の不具合による製品の破損などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。

本機は屋内に設置してください。また、屋内であっても次のような場所の設置は避けてください。

- 風雨にさらされる場所
- 空調機の近くなど、温度・湿度の変化が激しい場所
- 振動や衝撃の加わるおそれのある場所
- スプリンクラーや感知器の近く

振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。

- 本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
- 振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

本機の質量に耐えられる場所に設置してください。

- 転倒・落下により、けがの原因になることがあります。

高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。

- 高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

機器相互の干渉に注意してください。

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさせて設置してください。

本機の使用環境温度は、海拔 1 400 m 未満で使用する場合は、0℃～40℃、高地（海拔 1 400 m 以上～2 800 m 未満）で使用する場合は、0℃～35℃です。これらの温度を越えないように空気の流れを確保してください。

- 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。

- 室内であっても直接日光が当たると LED モジュールの温度上昇により故障の原因になることがあります。
- キャビネットの変形や故障の原因となります。
- 光や熱によって機器の温度上昇に起因する故障や不具合の原因となる場合があります。
- 映像品位の低下につながる場合があります。

機器の接続は通電されていない状態で実施してください。

- 各機器の説明書に従って、接続してください。

設置時の空間距離について

- ケースや筐体内に設置する場合は、冷却ファンや通気口を設けて、LED パネル前面を含めた本機周辺温度（ケースや筐体内温度）が本機の使用環境温度の範囲内に維持されるように適切な換気を実施してください。

本機を保管しておく場合は、乾燥した室内に保管してください。

## ■ 接続について

電源コードや接続ケーブル抜き差しについて

- 壁への設置を行った場合、電源コード、接続ケーブルの抜き差しが困難な場合は、先に接続してから設置してください。
- コード類が絡まないようご注意ください。設置が完了してから、電源プラグをコンセントに差ししてください。

## ■ ご使用になるとき

本機の一部が熱くなることがあります。

- 筐体の一部の温度が高くなるがありますが、性能・品質には問題ありません。

長時間ご使用にならないときは

- 電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 電源供給せずに長期保管する場合は、直射日光にさらされる様な場所や湿度の高い場所に保管しないでください。

電源が瞬断や瞬停、瞬時電圧低下すると、正常に動作しない場合があります。

- このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

粘着性のテープやシールを貼らないでください。

- 本機の表面を汚すこととなります。

ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。

- 本機の変質の原因となります。

## ■ RJ45 端子との接続について

本製品の RJ45 端子は、コントロールボックスのみと接続するための専用端子です。ネットワークには絶対に接続しないでください。

誤って接続をすると、故障の原因となることがあります。

静電気が多く発生するような場所での本機の使用は、できるだけしないでください。

- じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所で本機を使用する場合、通信が切れやすくなります。その場合は、問題となる静電気やノイズ源を取り除いてから、本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

放送局や無線機からの強い電波により、正常に動作しない場合があります。

- 近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置するか、両端で接地された金属箔あるいは金属配管で LAN ケーブルを覆ってください。

## ■ AC IN と AC OUT について

AC IN はコンセントと接続し、AC OUT はキャビネットモジュールおよびコントロールボックスと接続してください。

- 指定以外の機器を取り付けると発熱により故障や火災の原因になることがあります。

## ■ お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて、通電をしていないことを確認してから行ってください。

本機（LED モジュール表面除く）の汚れは、帯電を除去した柔らかい布（綿・ネル地など）で軽くふく。

### お知らせ

- 静電気の発生は、電気回路の故障の原因になります。
- 本機の表面を固い布でふいたり、強くこすったりすると故障の原因になります。

## 化学ぞうきんのご使用について

- 本機にご使用の際はその注意書きに従ってください。

殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない。

- 本機の故障、破損や塗装がはがれる原因になります。



通気孔などの空気が通る孔のごみやほこりを取り除く。

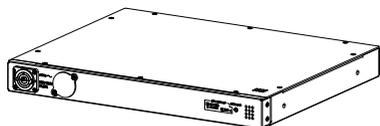
- 使用環境によって通気孔付近に埃などが付着する場合があります。それにより、本機内部の冷却、排熱の循環が悪化し、輝度の低下や故障の原因となるおそれがありますので通気孔に付着した埃を取り除く清掃をお願いします。
- 付着するゴミやほこりの量は、設置した場所や使用時間によって異なります。

## ■ 廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。なお製品を分解せずに廃棄してください。

# 付属品の確認

## 本体



## 付属品

付属品が入っていることをご確認ください。  
< >は個数です。

- 電源コード < 1 >  
コンセント装着用 (約 3 m)  
DPVF5137ZA/X1

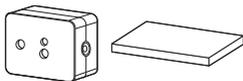


- 電源コード < 6 >  
キャビネットモジュール装着用

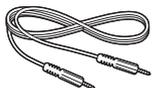
- DPVF5133ZA/X1  
4.5 m < 1 >
- DPVF5131ZA/X1  
3.8 m < 1 >
- DPVF5003ZA/X1  
2.4 m < 3 >
- DPVF5004ZA/X1  
3.0 m < 1 >



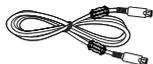
- センサーモジュール < 1 >  
両面テープ < 2 >  
DPVF3677ZA/X1



- 4 極超ミニケーブル < 1 >  
DPVF3657ZA/X1



- RJ-45 ケーブル < 1 >  
コントロールシグナル用  
DPVF5132ZA/X1



- M6-8 ねじ < 4 >  
ボックス固定用  
DPVF5008ZA/X1



- 結束バンド < 20 >  
DPVF4980ZA/X1



- 面ファスナー < 10 >  
DPVF4981ZA/X1



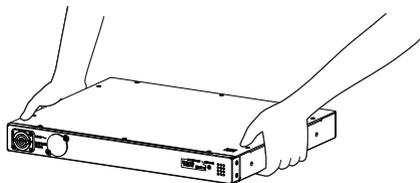
### お願い

- 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- 付属品の品番は予告なく変更する場合があります。  
(上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
- 付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へご  
注文ください。(サービスルート扱い)
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理して  
ください。

# 移動するときの注意

---

移動する際には両側面を持ってください。



## お願い

- 壁掛けもしくはスタンドへの取り付け／取り外しは2人以上で行ってください。
- 本機の上下左右のフレームやコーナー部をぶついたりしないください。  
故障の原因になります。

# 接続

## 機器の接続

前面



### 1 AC IN (Neutrik (NAC3MP-HC)): AC 電源入力

AC OUT [A] と AC OUT [B] へ AC 電源を供給します。

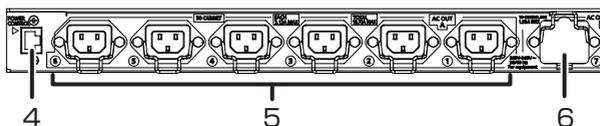
### 2 SERVICE ONLY (サービス用) : サービス用スイッチ

メンテナンス時以外は、「1 : NORMAL」で使用してください。

### 3 SENSOR IN センサー端子

付属のセンサーモジュールを接続します。( 15 ページ「センサーモジュールの取り付け」)

背面



### 4 POWER CONTROL: 電源ボックス制御端子

電源ボックス制御端子

コントロールボックス (TY-CTRFHD3J) と接続して、本機を制御します。

### 5 AC OUT [A] (for Cabinet Module): AC 電源出力 (キャビネットモジュール用)

AC 電源出力 (キャビネットモジュール用)

キャビネットモジュール (TY-FD19AS6, TY-FD19AS1B) へ AC 電源を供給します。

#### お願い

- ⑥に付属しているキャップをはずさないでください。

### 6 AC OUT [B] (for Control Box): AC 電源出力 (コントロールボックス用)

AC 電源出力 (コントロールボックス用)

コントロールボックス (TY-CTRFHD3J) が近接に取り付けられている場合、キャップを取り外し、本端子より AC 電源を供給します。

## 接続の前に

- 接続する前に、TL-165AD19AJの施工説明書をよくお読みください。  
施工説明書のダウンロードについては、次のURLを参照してください。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays>

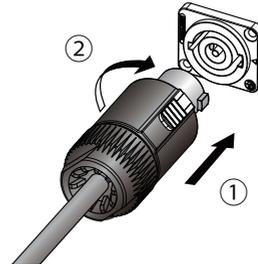


- 各機器の電源を切ってからケーブルの接続をしてください。
- 下記の点に注意して、ケーブルを接続してください。行わない場合、故障の要因になります。
  - ・ケーブルを本機、あるいは本機と接続する機器に接続するときは、ケーブルを持つ前に周辺の金属に触れて身体の帯電を除去した状態で作業してください。
  - ・本機と、本機に接続する機器とを接続するLANケーブルは、
    - ・本機を TY-FD19AS6 の背面に設置する場合は、本機に付属のLANケーブルを使用してください。
    - ・付属LANケーブル以外のLANケーブルを使用する場合は、CAT5e以上に準拠した30m以内のLANの使用を推奨いたします。
    - ・本機と、本機に接続する機器とを接続するケーブルは、必要以上に長くしないでください。長くするほどノイズの影響を受けやすくなります。ケーブルを巻いた状態で使用するとアンテナになりますので、さらにノイズの影響を受けやすくなります。
    - ・ケーブル接続時は、アースが先に接続されるように、接続する機器の接続端子部にまっすぐに挿入してください。
  - 爪折れ防止カバー付きLANケーブルは、カバー部分がバックカバーに接触し抜けにくくなる場合がありますのでご注意ください。

## 電源コード（コンセント側）の接続と固定



### 電源コードの固定方法



コネクタを根元まで差し込んだあと(①)、カチッと音がするまで回してください(②)。

#### お願い

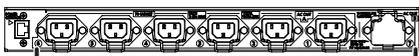
- 音がなったあと、再びコネクタを左右に回して、回らない事を確認してください。

### 電源コードを外すとき



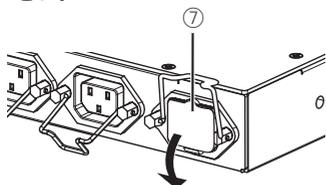
プラグのロックボタンを手前に引きながら反時計方向へ回したあと(①)、引き抜いてください(②)。

## 電源コード（キャビネットモジュール側、コントロールボックス側）の接続と固定

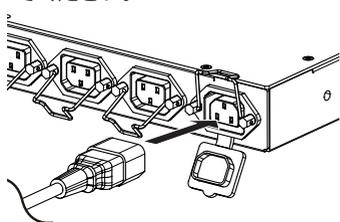


### 電源コードの固定方法

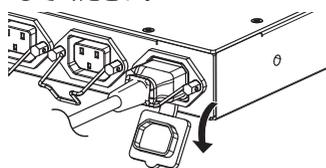
1. ⑦のカバーを図の矢印の方向に外してください。



2. コネクターを根元までまっすぐに差し込んでください。

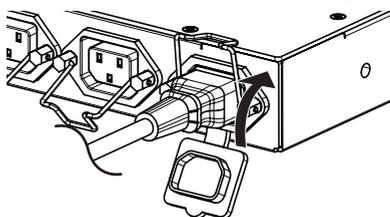


3. 電源コードホルダーの端が電源コードに力チツとはまるまで電源コードホルダーを図の矢印方向へ押し込み、電源コードを固定してください。

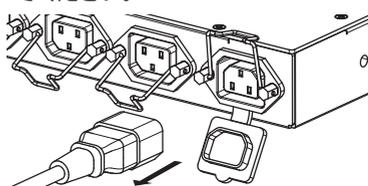


### 電源コードを外すとき

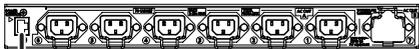
1. 電源コードを固定している電源コードホルダーを図の矢印方向へ開いてください。



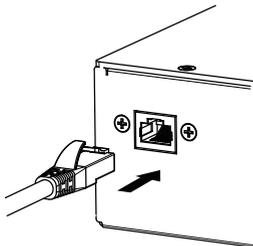
2. コネクター本体を持って、まっすぐに抜いてください。



## RJ-45 コードの接続と固定

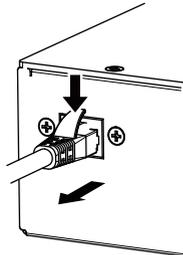


### RJ-45 コードの固定方法



コネクタを根元までカチッと音がなるまで差し込んでください。

### RJ-45 コードを外すとき



つまみを解除した状態で抜いてください。

#### お願い

- つまみが破損している電源コード、RJ-45 コードは使用しないでください。つまみが破損した状態で使用すると、接続端子部が接触不良になるおそれがあります。コードの修理はお買い上げの販売店にご相談ください。
- 電源コードを差し込んだコネクタが動いたり、簡単に抜けてしまう場合は、接触部が緩んでいる可能性があります。そのままの状態で使用すると、端子部の接触抵抗が増え、発熱し火災の原因となります。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
- 電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- 付属のコードは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

## センサーモジュールの取り付け

付属品のセンサーモジュールを取り付けることで、環境センサー機能を使用することができます。

#### お願い

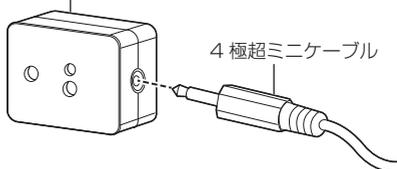
- センサーモジュールの取り付け、取り外しの際は、必ずディスプレイ本体の電源を切ってください。

### 1 センサーモジュールに 4 極超ミニケーブル (付属品) を接続する

#### お願い

- 4 極超ミニケーブルの端子はしっかり奥まで差し込んでください。

センサーモジュール



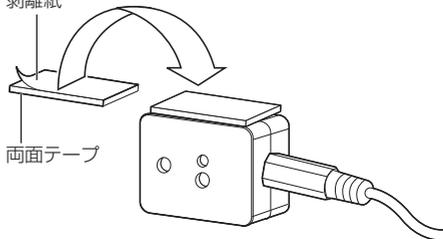
### 2 両面テープの片面の剥離紙をはがし、センサーモジュールの上面または底面に貼り付ける

#### お願い

- 貼り付ける面のほこり、水、油などの汚れは拭き取り、貼り付け面にしっかり押し付けて貼ってください。
- 一度貼り付けた両面テープの再貼り付けはできませんので、貼り付け位置を十分に確認のうえ、貼り付けてください。
- センサーモジュールの両面テープでの固定は恒久的な保持を保証するものではありません。外力を受けたり、環境条件などで外れた場合は、市販の両面テープで再度固定し直してください。

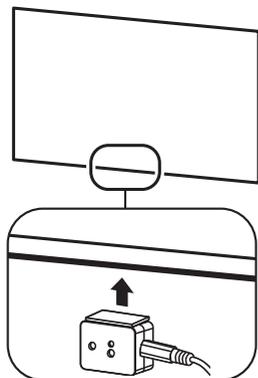
剥離紙

両面テープ



### 3 両面テープの残りの片面の剥離紙をはがし、センサーモジュールをディスプレイの近傍に貼り付ける

センサー取り付け場所の例：



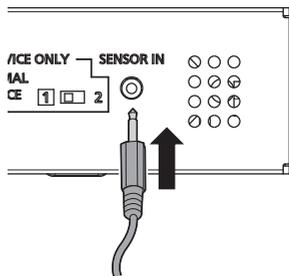
#### お願い

- センサー前面が環境情報を検出できる場所に貼り付けてください。
- 近接センサー機能を使用する場合は、センサーモジュールを床や机、天井から 2 cm 以上離してください。またセンサー前面 1 m 以内には物を置かないでください。
- 貼り付ける面のほこり、水、油などの汚れは拭き取り、貼り付け面にしっかり押し付けて貼ってください。
- 一度貼り付けた両面テープの再貼り付けはできませんので、貼り付け位置を十分に確認のうえ、貼り付けてください。

### 4 4 極超ミニケーブルのもう一方の端子を SENSOR IN 端子に接続する

#### お願い

- 4 極超ミニケーブルの端子はしっかり奥まで差し込んでください。



# 組み立て・取り付け・接続

TL-165AD19AJ の施工説明書をよくお読みのうえ、組み立て・取り付け・接続を行ってください。

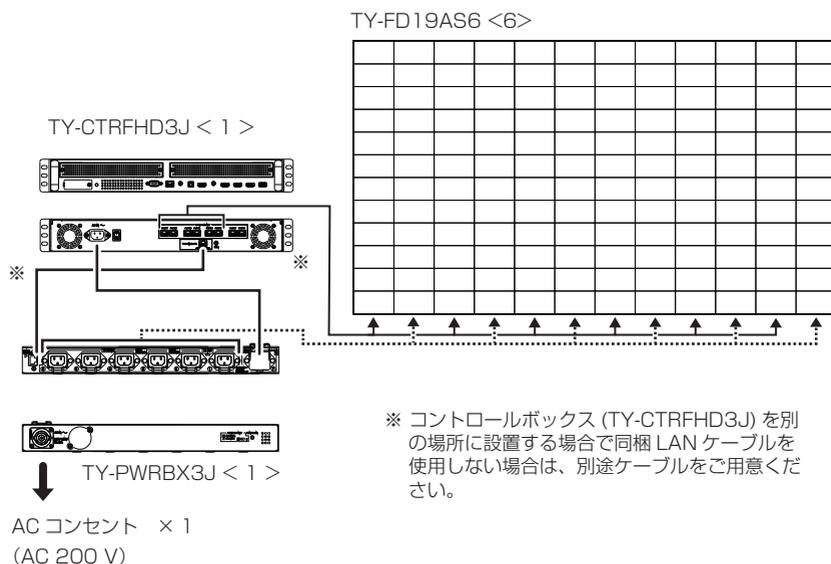
「施工説明書」のダウンロードについては、次の URL を参照してください。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays>



施工説明書には以下の内容が記載されております。

1. 壁掛け金具の組立
2. 壁掛け金具の壁への取り付け
3. 電源ボックスの取り付け
4. コントロールボックスの取り付け
5. ケーブルの配線
6. キャビネットモジュールの設置・組立
7. LED モジュールの取り外し・取り付け
8. LED モジュールの段差調整 (Z 方向)
9. LED モジュールの隙間調整 (XY 方向)



## お願い

- 本機を接続する過電流遮断器の定格電流は 30 A の系統に接続してください。
- 電源ボックスの AC IN の各電源プラグは、分電盤内で独立している系統のコンセントへ単独で接続してください。併用すると過負荷となり不安全につながります。
- 全ての組み立て・取り付け・接続を終えた後に通電してください。
- コントロールボックスの主電源スイッチを「切」にできないときは、電源プラグを抜いてください。

- 変換プラグを使用せず、電源プラグを直接コンセントに接続してください。変換プラグを使用すると、電源プラグの差し込みが不完全になり、発熱による火災の原因になることがあります。
- 本機は、使用電源として AC 200 V ~ AC 240 V に対応しており、30 A に対応した設置コンセントが必要になります。使用可能なコンセントの形状は、使用電源によって異なります。



2 極 (接地形) 30 A 250 V

## 操作

TL-165AD19AJ の取扱説明書をお読みください。

## 仕様

品番	TY-PWRBX3J
種類	電源ボックス
使用電源	AC IN AC 200 V - 240 V, 50 Hz / 60 Hz 19.97 A
消費電力	4 W <sup>*1</sup>
動作使用条件	温度 : 0 °C ~ 40 °C 湿度 : 10 % ~ 80 % (結露のないこと) <sup>*2</sup>
稼働時間	24 時間 / 日
AC 入力端子 AC IN	Neutrik (NAC3MP-HC) × 1
AC 出力端子 AC OUT (for Cabinet)	IEC C13 × 6 AC OUT [A] AC OUT [A] AC 200 V - 240 V, 50 Hz / 60 Hz, 3.12 A (単体) 18.72 A (合計)
AC 出力端子 AC OUT (for Control Box)	IEC C13 × 1 AC OUT [B] AC OUT [B] AC 200 V - 240 V, 50 Hz / 60 Hz, 1.05 A
POWER CONTROL 端子 POWER CONTROL	RJ45 × 1 TY-PWRBX3J 制御用
センサー 端子 SENSOR IN	4 極超ミニジャック (Φ 2.5 mm) × 1
外形寸法	幅 400 mm 高さ 42 mm 奥行 338 mm
質量	約 2.5 kg

※ 1 工場出荷設定時

※ 2 高地 (海拔 1 400 m 以上 2 800 m 未満) で使用する場合は使用環境温度は 0 °C ~ 35 °C になります。



■ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは、ヨーロッパ連合（EU）をはじめとするリサイクルシステムを備えた国にのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問合せ下さい。

警告

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

<b>便利メモ</b> おぼえのため記入 されると便利です。	<b>お買い上げ日</b>	年 月 日	<b>品番</b>	
	<b>販売店名</b>	☎ ( ) -	<b>お客様ご相談窓口</b>	
		☎ ( ) -		